

すわ、谷山! 中世・谷山城跡とその周辺



写真左上:青磁稜花皿(谷山弓場城跡出土・鹿児島市教育委員会蔵)
背景写真:谷山本城跡(鹿児島市教育委員会蔵)
中央デザイン:南朝方豪族谷山氏の旗(個人蔵/鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管)

関連イベント ※無料

特別企画展示説明会
11/20(日)、12/18(日)、
1/15(日)
全て13:30~(30分ほど)
会場:ふるさと考古歴史館企画展示室

2022.11.19 [土] ▶ 2023.1.22 [日]

【開館時間】午前9時~午後5時 【休館日】月曜日(休日の場合は翌平日)・12/29~1/1

【観覧料】無料(ただし、常設展示は、小・中学生150円、高校生以上300円)

【新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来場の際には次の点にご注意をお願いします。】

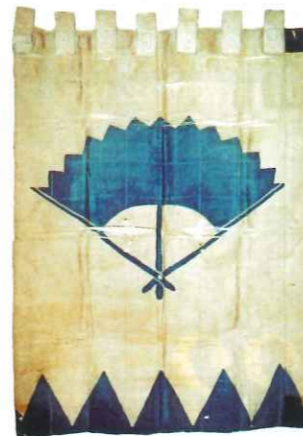
- 1 マスクの着用、検温並びに施設利用者カードの記入へのご協力をお願いします。
- 2 具合の悪い方、過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等した方は入館をお控えくださいますようお願いいたします。
- 3 一度に入館できる人数を制限させていただきます。入館者数の状況によっては、入館までお待ちいただく場合があります。ご了承ください。なお、当面の間、当館の職員・スタッフがマスクを着用しておりますので、ご理解とご了承願います。

「すわ!」「いざ!」と、己を鼓舞して臨んだのは
二所懸命か、「権力」闘争か、それとも「安寧」秩序か。

すわ、谷山! 中世・谷山城跡とその周辺

鹿児島湾を望む海岸部に平野(沖積低地)が広がる鹿児島市。周囲をシラス台地が囲むこれらの平野の南部に谷山地区は位置します。その市街地を一望できる丘陵上にあるのが、中世の山城・谷山城跡(鹿児島市下福元町)です。当城は13世紀~16世紀にかけて、谷山の「扇の要」として在り続けました。

本年度の特別企画展では、谷山城跡の発掘調査や現地踏査の成果を展示し、城の構造や400年に渡る歴史・変遷を紹介します。また、谷山城跡周辺の遺跡の発掘調査成果や今も残る関連史跡の写真も展示し、中世・鹿児島における谷山城と谷山の位置づけを試みます。



南朝方豪族谷山氏の旗
【個人蔵/
鹿児島県歴史・美術センター黎明館保管】



タイ産黒褐釉四耳壺
【谷山弓場城跡出土・
鹿児島市教育委員会蔵】



梵字刻印青磁碗
【谷山弓場城跡出土・
鹿児島市教育委員会蔵】

はじめに -谷山城築城前のタニヤマ-

【対象となる遺跡】不動寺遺跡、堂園遺跡[以上、鹿児島市上福元町]、北麓遺跡[鹿児島市谷山中央1丁目]ほか

発掘調査と現地踏査にみる谷山城の400年

【対象となる遺跡】谷山本城跡、谷山弓場城跡、谷山陣之尾城跡[以上、鹿児島市下福元町]

谷山城跡の周辺遺跡 ~“兵どもが夢の跡”

【対象となる遺跡】不動寺遺跡、谷山菊池城跡[以上、鹿児島市上福元町]、北麓遺跡[鹿児島市谷山中央1丁目]、清泉寺跡[鹿児島市下福元町]ほか

島津氏の領国支配と谷山 ~市内中世遺跡が語る戦乱の時代

【対象となる遺跡】上山城跡[鹿児島市城山町]、清水城跡[鹿児島市稲荷町]ほか、地頭仮屋跡[鹿児島市郡山町]、油須木城跡[鹿児島市油須木町]ほか

南薩の中世遺跡との紐帯 ~ヒトとモノの結びつき~

【対象となる遺跡】小菌遺跡[南さつま市教育委員会蔵]、川辺地頭仮屋跡[南九州市教育委員会蔵]、芝原遺跡[南さつま市所在]、鹿児島県立埋蔵文化財センター蔵]ほか

おわりに -谷山城築城後の谷山-

【対象となる遺跡】不動寺遺跡、堂園遺跡[以上、鹿児島市上福元町]、北麓遺跡[鹿児島市谷山中央1丁目]ほか

空堀(谷山弓場城跡検出・鹿児島市教育委員会蔵)



土師器廃棄溝出土土坏・小皿
【谷山城跡E地点出土・鹿児島市教育委員会蔵】



【交通案内】
JR指宿枕崎線慈眼寺駅より徒歩20分
慈眼寺公園前バス停留所より徒歩15分
谷山インターより車で10分